

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0281

(注)本稿は 2013 年 9 月 29 日から 10 月 12 日まで 5 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.10.13

前田 高行

MENA(中東・北アフリカ)諸国の経済自由度(2013年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その7)

目次	頁
1. 「The 2013 Index of Economic Freedom World Rankings」について	2
2. MENAトップのバハレーン是世界12位で日本よりも高い評価	2
3. 分野(Pillar)別の順位	3
4. 主要国の世界順位の変遷(2011~2013年)	5
5. サウジアラビア、トルコ、エジプト、UAE4カ国と日米の比較(レーダーチャート)	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですがその他の多くはスンニ派の政権国家です(*)。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

(*)シリアのアサド政権はシーア派の分派のアラウィー派であるが、同派は一部で異端とみなされており、またアサド政権自体は宗教色の薄い世俗的軍事政権である。しかし最近ではレバノンのイスラム過激派ヒズボラー(神の党)をシーア派イランと共に支援し、或いはスンニ派が多数を占める反政府勢力と対抗する図式が明確になってきた。このため国際世論ではアサド政権をシーア派とみなす論調が強くなりつつある。

第7回の MENA ランキングは、米国のヘリテージ財団とウォール・ストリート・ジャーナルが共同で発表した「The 2013 Index of Economic Freedom World Rankings」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ: <http://www.heritage.org/index/>

1. 「The 2013 Index of Economic Freedom World Rankings」について

「Index of Economic Freedom」(以下経済自由度)は、ワシントンに本部がある米国の保守系シンクタンクのヘリテージ財団(Heritage Foundation)が The Wall Street Journal と共同で毎年公表しており、2013年レポートでは世界177カ国がランク付けの対象となっている。そのうち MENA はシリア、リビア、イラク及びパレスチナ自治政府を除く16カ国が評価対象となっている(なおシリア、リビア及びイラクはいくつかの個別分野(Pillar, 下記参照)で評価付けされているが、総合的なランクはない)。

Index は Pillar と呼ばれる以下の10の分野について各国の自由度に応じた点数評価とランク付けがされ、またそれらを総合したランク付けが行われている。

10の Pillar(分野)

- (1) Property Rights
- (2) Freedom from Corruption
- (3) Fiscal Freedom
- (4) Government Spending
- (5) Business Freedom
- (6) Labor Freedom
- (7) Monetary Freedom
- (8) Trade Freedom
- (9) Investment Freedom
- (10) Financial Freedom

2. MENAトップのバハレーンは世界12位で日本よりも高い評価 (末尾表 7-T01 参照)

総合評価で MENA 16ヶ国のトップはバハレーンで世界順位12位である。10位の米国より低い
が、24位の日本よりはかなり上位である。バハレーンに次ぐのはカタールであるが、世界順位はバハレーンよりかなり離れた27位となっている。MENA3位以下は UAE(世界28位)、ヨルダン(同33

位)、オマーン(同45位)が世界50位以内である。これら5カ国に続くイスラエル(世界51位)、クウェイト(同66位)、トルコ(同69位)、サウジアラビア(同82位)までが全世界177カ国の中の上位グループとなる。

MENA10位以下の国とその世界順位は以下のとおりである。

モロッコ(世界90位)、レバノン(世界91位)、チュニジア(世界107位)、イエメン(世界113位)、エジプト(世界125位)、アルジェリア(世界145位)、イラン(世界68位)でありイランの経済自由度は世界最低のレベルと評価されている。因みに MENA16カ国の平均世界順位は78位でありほぼ世界の中間レベルにある。

3. 分野(Pillar)別の順位 (末尾表7-T02 参照)

経済の自由度を構成する10のPillar(上記1参照)について、MENA 諸国の概要を見ると以下の通りである。

(1) Property Rights(MENA 平均ポイント:40.8)

Property Right(工業所有権保護)が MENA で最も高いのはイスラエルとカタールでそのポイントは70.0である。両国についてポイントが高いのはヨルダン(ポイント60.0)でさらにバハレーン、UAEが55.0で並んでいる。クウェイト、オマーン及びトルコはこれに次ぐポイント50.0である。一方エジプトのポイントは35.0で MENA 平均を下回っており、イラン及びリビアはポイント10.0と極めて低い。この分野は総合順位(前項参照)との相関性が高い。

(参考:日本80.0、米国85.0、中国20.0、インド50.0)

(2) Freedom from Corruption(MENA 平均ポイント:39.0)

汚職の少なさ、透明度はカタールがポイント72.0でMENAトップである。このポイントは日本(80.0)より低いが米国(71.0)とほぼ同等である。カタールに次ぐのは UAE68.0、イスラエル58.0であり、バハレーン(51.0)、オマーン(48.0)、クウェイト(46.0)、ヨルダン(45.0)、サウジアラビア(44.0)と続いている。

一方 MENA の中で汚職の度合いが高いとされているのはイラク、リビア、イエメンなどでそれぞれのポイントは18.0、20.0、21.0である。MENA 諸国の中では GCC 或いはヨルダンのような君主制国家の汚職度が低い一方、汚職度の高い国(イラク、リビアなど)は共和制であり、強権的な独裁制が倒れた後も透明度は低いままである。

(参考:日本80.0、米国71.0、中国36.0、インド31.0)

(3) Fiscal Freedom(MENA 平均ポイント:87.6)

MENA はこの分野では世界のトップレベルの国が多い。特に GCC の6カ国は UAE、クウェイト、バハレーンの3カ国のポイントは99.9であり、さらにカタール(99.8)、サウジアラビア(99.6)、オマーン98.5に見られる通り GCC6カ国はいずれもほぼ満点に近く、総合世界1位である香港のこの分野のポイント(92.9)を上回っている。また MENA で二番目に低いモロッコのポイント71.4は米国(69.3)或いは日本(69.2)よりも高い。因みに MENA で最もポイントが低い国はイスラエルの6

0. 2である。MENA17カ国の平均ポイントは87. 6でありMENAは世界的に非常に高いレベルにある。

(参考: 日本69. 2、米国69. 3、中国70. 2、インド78. 3)

(4) Government Spending(MENA 平均ポイント: 66. 5)

この分野のMENAトップはUAE(ポイント: 85. 1)であり、これに続くのがカタール(81. 2)、イラン(同80. 5)、レバノン(74. 6)、イエメン(72. 8)、バハレーン(72. 4)、エジプト(69. 4)である。この分野の評価が低いのはイスラエル(39. 3)、アルジェリア(44. 1)、サウジアラビア(52. 2)などであるが、他の項目に比べてポイントの高低差は比較的小さい。

(参考: 日本45. 0、米国47. 8、中国83. 3、インド77. 9)

(5) Business Freedom(MENA 平均ポイント: 66. 0)

この分野ではチュニジアがポイント82. 8でMENAでは最も高い。その他モロッコ(76. 4)、バハレーン(75. 8)、UAE(74. 0)などが高い。MENA平均は66. 0と、中国(48. 0)、インド(37. 3)を上回っている。この項目のポイントが低い国はイラク(47. 0)、レバノン(50. 3)である。

(参考: 日本81. 3、米国90. 5、中国48. 0、インド37. 3)

(6) Labor Freedom(MENA 平均ポイント: 61. 6)

労働の自由度がMENAで最も高いのはバハレーンで同国のポイントは90. 4であるが、これは日本(80. 3)よりも高い。これに次ぐのはオマーン(80. 9)であるがMENAトップのバハレーンとは開きがある。UAE(77. 6)、ヨルダン(75. 5)、チュニジア、イラク(共に70. 1)がポイント70台に並んでいる。一方、ポイントが低いのはモロッコ(30. 1)であるが、同国はすぐ上のトルコの43. 1に比べポイントの低さが際立っている。

(参考: 日本80. 3、米国95. 5、中国62. 6、インド73. 6)

(7) Monetary Freedom(MENA 平均ポイント: 72. 7)

MENA18カ国の中で金融の自由度が最も高いのはUAE(ポイント83. 9)であり、これに次ぐのがヨルダン(同82. 0)、カタール(80. 3)、モロッコ(78. 9)、カタール(80. 3)である。この項目はMENA諸国の格差は少なくポイントが最も低いイランで58. 0であり、エジプト(58. 4)、リビア(64. 8)となっている。

(参考: 日本90. 6、米国75. 0、中国71. 6、インド65. 3)

(8) Trade Freedom(MENA 平均ポイント: 75. 8)

貿易の自由度がMENAで高いのはトルコ(85. 2)、リビア(85. 0)、イスラエル(83. 0)、バハレーン(82. 8)の各国であり、これは米国(86. 4)よりやや低いものの日本(81. 8)を上回っている。GCC産油国のうちUAE、カタールのポイントは各々82. 6、82. 5とほぼ同じであるが、オマーン(78. 7)、サウジアラビア(77. 3)、クウェイト(76. 8)の3カ国はやや低位である。ポイントがMENAで低いのはイラン(45. 7)、チュニジア(58. 1)である。MENA18カ国の平均は75. 8であり、中国(72. 0)、インド(63. 6)を上回っている。MENAは貿易自由度が高い地域であると言える。

(参考:日本81. 8、米国86. 4、中国72. 0、インド63. 6)

(9)Investment Freedom(MENA 平均ポイント:45. 8)

MENA18カ国のうち投資の自由度が最も高い国はイスラエル(80. 0)である。同国に次ぐのがバハレーン(75. 0)、モロッコ・ヨルダン(各70. 0)、トルコ(65. 0)、レバノン(60. 0)であり、他の項目に比べてポイントの格差が大きい。これらの国に比べ投資の自由度が低いとされているのはイラン、リビア、シリア、アルジェリア等の国々であり、いずれもポイントは20. 0以下である。特にイランのポイントは0. 0であり、国際的な経済制裁と硬直的な外資政策のためと考えられる。なお外国企業が多数進出しているドバイを有するUAEのポイントは35. 0でありインドと同じポイントである。また製造業合併事業の誘致に力を入れているサウジアラビア(40. 0)もMENA18カ国中の12位であり、決して高いとは言えない。

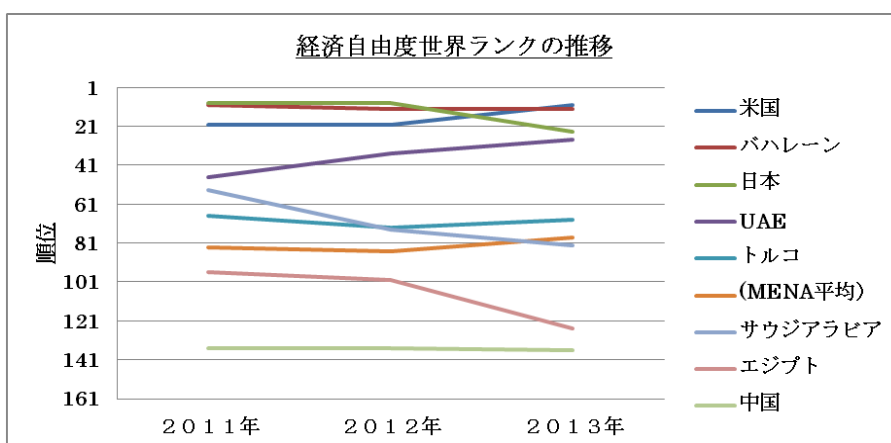
(参考:日本60. 0、米国70. 0、中国25. 0、インド35. 0)

(10)Financial Freedom(MENA 平均ポイント:46. 1)

金融の自由度がMENAで最も高いのはバハレーン(80. 0)であり、同国のポイントは米国(70. 0)を上回っている。バハレーンに次ぐMENA2位はイスラエル(70. 0)であり、ヨルダン、レバノン、モロッコ、オマーン、トルコの5カ国がポイント60. 0で並んでいる。さらにクウェイト、カタール、サウジアラビア、UAEの湾岸産油国が共に50. 0であり、このポイント数は日本とおなじである。一方、金融の自由度が低いと評価されているのは、イラン(10. 0)、リビア・シリア(各20. 0)の各国である。

(参考:日本50. 0、米国70. 0、中国30. 0、インド40. 0)

4. 主要国の世界順位の変遷(2011~2013年)



ここではバハレーン、UAE、トルコ、サウジアラビア、エジプトの5カ国の過去3年間(2011年~2013年)の世界順位の変遷を取り上げ、参考としてMENA平均順位及び米国、日本、中国と比較してみる。

バハレーンの2011年の順位は世界10位であり、2012年及び2013年は世界12位と安定して高い順位を維持している。同国は3年連続でMENAのトップであり、しかもMENA2位のカタール(世界27位→25位→27位)を大きく引き離している。バハレーンと日本或いは米国を比較すると2011年、12年は日本が世界9位でバハレーンを上回っていたが、2013年には日本が24位に急落している。また米国は2011年、12年は20位であり2013年には10位に躍進しバハレーンをわずか

に上回った。日本と米国に比べバハレーンが安定して10位前後を維持していることは特筆に値する。

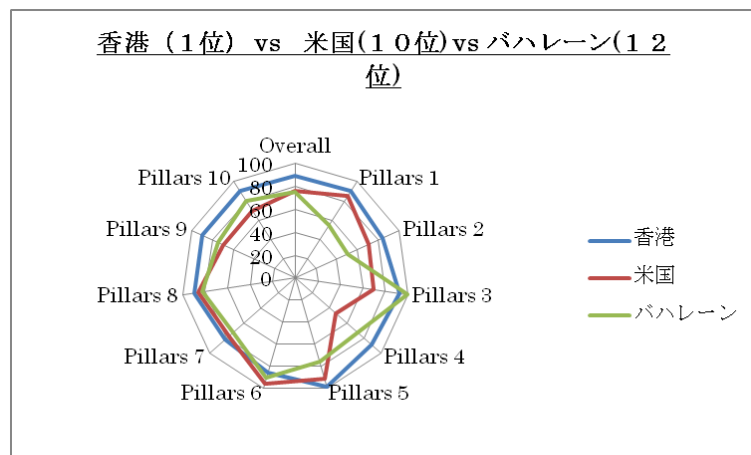
これら3カ国を急迫しているのが UAE である。2011年の同国の世界順位は47位であったが、その後35位(2012年)→28位(2013年)と毎年大幅に順位を上げて日本に肉薄し世界の上位グループに入っている。これと対照的なのがサウジアラビアである。同国は2011年に UAE に近い54位であったが、その後74位→82位と3年連続で順位を落とし、2012年以降はトルコ(67位→73位→69位)も下回る結果となっている。サウジアラビアは過去2年間は MENA の平均を上回っていたが、2013年にはこれを下回る順位となっている。因みに MENA の平均世界順位は過去3年間80位前後にあり(83位→85位→78位)、これは世界のほぼ中位クラスである。

エジプトは2011年には96位であり中位よりやや下のクラスであったが2012年には100位、2013年には125位に急落し、過去3年間130位台を続ける中国(135位→135位→136位)に近いランクまで下がっている。

5. サウジアラビア、トルコ、エジプト、UAE4カ国と日米の比較(レーダーチャート)

2013年版で評価対象となった MENA 諸国のうちバハレーン(世界12位)、UAE(同28位)、トルコ(同69位)、サウジアラビア(82位)及びエジプト(同125位)の5カ国を取り上げ、それぞれの分野別ポイントをレーダーチャートで表してみる。ここでは5カ国を香港(世界1位)、米国(同10位)、日本(同24位)、中国(同136位)の4カ国を加え以下の4つのグループに分けて比較検証を行った。なおレーダーチャートは最も外側がポイント100(満点)であり内側中心のポイントは0.0である。そして最上段の Overall が総合ポイントであり、Pillar 1から Pillar 10までは第1項に述べた分野を示している。グラフの実線は外側に広がるほどポイントが高いことを、また真円に近いほど分野のバランスが取れていることを示している。

(1) チャート1(トップグループ): 香港、米国、バハレーン

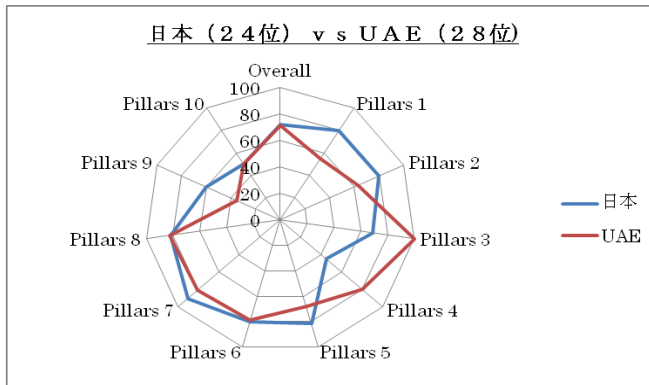


総合世界1位の香港は10項目のいずれも80ポイント以上であり経済の自由度が高い。これに対して米国は Fiscal Freedom(Pillar 3)や Financial Freedom(Pillar 10)が他の2カ国に比べて低く、特に Government Spending(Pillar 4)のポイントが目立って低い。米国は伝統的に民間投資を重視しているのに対して香港、バハレーンは政府投資

主導のためであろう。バハレーンは総合世界12位であり米国の10位と隔たりが小さいが、分野別に見ると Property Rights(Pillar 1)、Freedom from Corruption (Pillar 2)のポイントが50台にとどま

っており香港、米国などに比べてかなり低い。その一方 Fiscal Freedom(Pillar 3)は他の2カ国を上回りほぼ満点である。

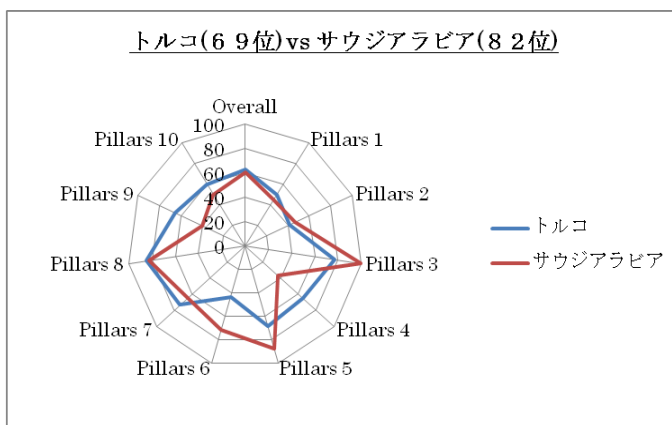
(2) チャート2(上位グループ): 日本、UAE



世界順位24位の日本と同28位の UAE を比較すると、Labor Freedom(Pillar 6)、Monetary Freedom(Pillar 7)及び Trade Freedom(Pillar 8)の3項目のポイントは両国ほぼ同じである。しかし日本は Property Rights(Pillar 1)、Freedom from Corruption (Pillar 2)及び Investment Freedom(Pillar 9)の3分野では UAE を大きく上回っているが、反面 Fiscal Freedom(Pillar 3)及び

Government Spending(Pillar 4)の分野は UAE が日本より上位である。

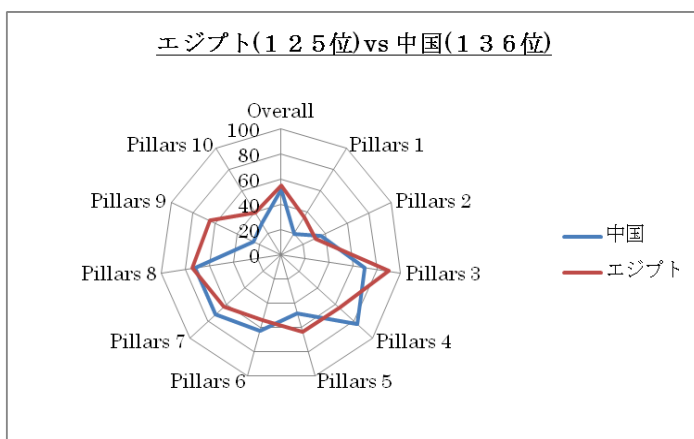
(3) チャート3(中位グループ): トルコ、サウジアラビア



総合順位が69位と82位でほぼ世界の 中位にいるトルコとサウジアラビアのうちトルコは各分野のポイントが比較的 平均化しているが、サウジアラビアは 分野間の格差が大きい。サウジアラビアの場合 Fiscal Freedom(Pillar 3)のポイントが99.6と突出して高く、香港、米国、日本を上回っている(因みにこの分野はバハレーン、UAE など GCC 諸国がいずれも極めて

高いのが特徴である)。その一方 Government Spending(Pillar 4)及び Investment Freedom(Pillar 9)のポイントが低い。

(4) チャート4(下位グループ): エジプト、中国



エジプト(世界125位)と中国(同136位)は共に経済自由度の世界ランクが低い。分野別のポイントで両国の格差が大きい分野は Investment Freedom(Pillar 9)(エジプト65.0、中国25.0)、Fiscal Freedom(Pillar 3)(エジプト89.7、中国70.2)、Government Spending(Pillar 4)(中国83.3、エジプト64.1)などである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界経済自由度ランク(2013年)(対象国数:177カ国)

国名	世界ランク	MENA ランク	スコア	前年ランク
バハレーン	12	1	75.5	12
カタール	27	2	71.3	25
UAE	28	3	71.1	35
ヨルダン	33	4	70.4	32
オマーン	45	5	68.1	47
イスラエル	51	6	66.9	48
クウェイト	66	7	63.1	71
トルコ	69	8	62.9	73
サウジアラビア	82	9	60.6	74
モロッコ	90	10	59.6	87
レバノン	91	11	59.5	90
チュニジア	107	12	57.0	95
イエメン	113	13	55.9	121
エジプト	125	14	54.8	100
アルジェリア	145	15	49.6	140
イラン	168	16	43.2	171
シリア	N/A	N/A	N/A	139
リビア	N/A	N/A	N/A	176
イラク	N/A	N/A	N/A	N/A
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A
(MENA 平均)	78	-	62	85
世界1位(香港)	1	-	89.3	1
米国	10	-	76.0	20
日本	24	-	71.8	9
中国	136	-	51.9	135
インド	119	-	55.2	124
世界最下位(北朝鮮)	177	-	1.5	-

Source:ヘリテージ財団(Heritage Foundation) <http://www.heritage.org/index/>

世界経済自由度ランク項目別(2013年)(対象国数:177カ国)

国名	総合順位	Property Rights	Freedom from Corruption	Fiscal Freedom	Gov't Spending	Business Freedom	Labor Freedom	Monetary Freedom	Trade Freedom	Investment Freedom	Financial Freedom
アルジェリア	145	30.0	29.0	80.4	44.1	65.2	52.6	76.6	67.8	20.0	30.0
バハレーン	12	55.0	51.0	99.9	72.4	75.8	90.4	72.5	82.8	75.0	80.0
エジプト	125	35.0	29.0	85.6	69.4	63.3	43.3	58.4	73.8	50.0	40.0
イラン	168	10.0	27.0	80.8	80.5	65.3	55.0	58.0	45.7	0.0	10.0
イラク	N/A	N/A	18.0	N/A	N/A	47.0	70.1	N/A	N/A	N/A	N/A
イスラエル	51	70.0	58.0	60.2	39.3	66.1	63.7	78.6	83.0	80.0	70.0
ヨルダン	33	60.0	45.0	93.6	68.8	69.2	75.5	82.0	79.6	70.0	60.0
クウェイト	66	50.0	46.0	99.9	61.5	57.7	62.8	71.6	76.8	55.0	50.0
レバノン	91	20.0	25.0	90.8	74.6	50.3	57.2	76.5	80.3	60.0	60.0
リビア	N/A	10.0	20.0	N/A	N/A	N/A	N/A	64.8	85.0	10.0	20.0
モロッコ	90	40.0	34.0	71.4	64.3	76.4	30.1	78.9	70.8	70.0	60.0
オマーン	45	50.0	48.0	98.5	69.1	68.1	80.9	72.7	78.7	55.0	60.0
パレスチナ自治政府	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
カタール	27	70.0	72.0	99.8	81.2	69.4	63.4	80.3	82.5	45.0	50.0
サウジアラビア	82	40.0	44.0	99.6	52.2	68.2	69.2	65.7	77.3	40.0	50.0
シリア	N/A	20.0	26.0	86.2	N/A	59.3	48.9	71.5	72.8	10.0	20.0
チュニジア	107	40.0	38.0	74.5	63.7	82.8	70.1	77.8	58.1	35.0	30.0
トルコ	69	50.0	42.0	77.0	64.9	68.2	43.1	73.3	85.2	65.0	60.0
UAE	28	55.0	68.0	99.9	85.1	74.0	77.6	83.9	82.6	35.0	50.0
イエメン	113	30.0	21.0	91.5	72.8	61.3	55.3	65.7	81.5	50.0	30.0
(MENA 平均)	78	40.8	39.0	87.6	66.5	66.0	61.6	72.7	75.8	45.8	46.1
世界1位(香港)	1	90.0	84.0	92.9	88.9	98.9	86.2	82.1	90.0	90.0	90.0
米国	10	85.0	71.0	69.3	47.8	90.5	95.5	75.0	86.4	70.0	70.0
日本	24	80.0	80.0	69.2	45.0	81.3	80.3	90.6	81.8	60.0	50.0
中国	136	20.0	36.0	70.2	83.3	48.0	62.6	71.6	72.0	25.0	30.0
インド	119	50.0	31.0	78.3	77.9	37.3	73.6	65.3	63.6	35.0	40.0

Source:ヘリテージ財団(Heritage Foundation) <http://www.heritage.org/index/>